

新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室 2023
(会場:新国立劇場オペラパレス)

ジャコモ・プッチーニ
「ラ・ボエーム」

【全4幕<イタリア語上演/日本語及び英語字幕付>】

2023年7月10日(月) 11日(火) 12日(水) 13日(木) 14日(金) 15日(土)
全6回公演 全日 13:00 開演 新国立劇場オペラパレス

全席指定 高校生以下 2,200 円(要学生証) / 一般(大人)4,400 円

高校生以下発売日:2023年5月28日(日)/一般発売日:2023年6月24日(土)

主催:公益財団法人新国立劇場運営財団、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁

委託:令和5年度日本博 2.0 事業(委託型)

新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室で
本物の感動を体験する。

新国立劇場「高校生のためのオペラ鑑賞教室」は、現代舞台芸術の一層の普及を目指す新国立劇場が、次の世代を担う青少年に向け優れた舞台芸術を提供する機会として1998年(平成10年)より毎年開催しています(※2020年のみ中止)。「初めてのオペラ鑑賞だからこそ、本物のオペラを体験していただきたい」という願いを込めて、演出、舞台美術、衣裳など本公演と全く同じプロダクションを上演。日本を代表するオペラ歌手が出演し、生のオーケストラ演奏で上演しています。高校生を子供扱いせず、一般のお客様と全く同じスタイルで名作オペラを全曲鑑賞していただくというコンセプトが大変好評をいただいております。

2023年の新国立劇場公演は、プッチーニの名作『ラ・ボエーム』を上演します。19世紀パリを舞台に、詩人ロドルフォとお針子ミミの純愛、そして明日の成功を夢見る若き芸術家たちの貧しくも自由な生活を描いた青春オペラで、プッチーニならではの甘美な音楽がロマンティックな物語を紡ぎます。等身大の若者たちの姿が、多感な高校生の共感を大いに誘うことでしょう。



高校生のためのオペラ鑑賞教室
『ラ・ボエーム』2012年公演より

助成: 公益財団法人 **ロームミュージックファンデーション**

協賛: **ローム株式会社**

 **損保ジャパン**
SOMPO

新国立劇場「高校生のためのオペラ鑑賞教室」は、常松美登里子様からのご寄附を活用して行う公演事業です。

<写真、資料のご請求、ご取材のお問い合わせ>

新国立劇場制作部 オペラ広報 高梨木綿子

Tel:03-5352-5733/Fax:03-5352-5709/

e-mail:takanashi_y2525@nntt.jac.go.jp

■新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室

新国立劇場は、次の世代を担う青少年に優れた芸術を鑑賞する機会を提供するため、1998年度より20年以上にわたり「高校生のためのオペラ鑑賞教室」を開催しています。新国立劇場がシーズン公演として上演しているオペラ公演と全く同じプロダクションを、低価格で高校生にご鑑賞していただいております。



高校生のためのオペラ鑑賞教室
会場風景

本鑑賞教室は、国内を代表するオペラ歌手とオーケストラが出演。通常公演と同じ全幕上演でお届けします。マイクを使わない生の歌声、迫真の演技、大迫力の演奏、豪華な舞台セット等、最高水準のオペラが持つ様々な魅力に、多くの高校生から感動の声が寄せられています。

2023年度はジャコモ・プッチーニ作曲『ラ・ボエーム』を上演いたします。当時のパリを写實的に再現した舞台美術は、栗國淳演出の大きな見どころで、幕ごとに丁寧に練りこまれた心理描写が深い感動を誘います。数あるオペラの中でも最も美しい愛の名場面を含んだ本作品は、オペラははじめてという高校生も心を打たれることでしょう。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

■2022年鑑賞教室『蝶々夫人』アンケートより

2022年(プッチーニ作曲『蝶々夫人』を上演)のアンケート結果によると、オペラ初鑑賞の高校生は全体の約8割(78.0%)を占め、約8割(80.2%)の方が鑑賞後に「良かった」「とても良かった/面白かった」との回答がありました。また、公演の良かったところとして1位「音楽」、2位「物語の内容」、3位「舞台装置・衣裳」と続いています。次の世代を担う青少年に向け優れた舞台芸術を提供することができたと判断いたします。参加する学校も年々増え、毎年首都圏の約50校以上が鑑賞教室を体験しています。

(高校生のコメント)

- ◆オペラの生の迫力や熱量がすごかった。ストーリーもとても感動した。
- ◆音楽が壮大で骨まで響いて良かった。
- ◆感動的で何度も涙ぐんでしまいました。素晴らしかったです。
- ◆オペラの出演者の方々は、とんでもない歌声と表現力で私たちに物語を伝えてくれ、とても感動しました。
- ◆オペラ自体初めて見たのですが、こんなに心震える劇だとは思いませんでした。
- ◆生演奏と映像はやはり全く違うなあと感じた。直に鼓膜を揺らしてくる感動を忘れたくない。
- ◆最後の演出は本当に鳥肌が立ちました。日々感じる様な感情を1とすると、オペラでは100にする事が出来るのだと感じ、全体を通してとても大きく心を動かされました。
- ◆とにかく凄いいしかででこない！私の席からはオーケストラが見えました。指揮者の方もすごくて、ほんとにすごいいしかででこないです。
- ◆その場にいる臨場感がすごくて、吸い込まれてしまいそうなほど上手かった。
- ◆本当に良かった。幕が進むにつれて、どんどん演技や世界観に惹かれていくのがよく分かり、最後も泣きそうになりました。
- ◆声がとても美しく、気が付いたら終わっていました。
- ◆舞台演出がきれいで感動しました。特に照明の使い方が、影を利用していたり、時刻や季節の表現も細やかで凄かったです。
- ◆最後は鳥肌がたった。ティンパニの連打で最後に近づいているんだなと伝わって、演技に釘付けになった。
- ◆舞台美術と場面ごとのライティング(照明)の効果、壁に映る影等、興味深かった。アメリカ人妻のパラソルを持った立ち姿が、印象派の絵画のようでした。
- ◆出演者の方々の迫力ある歌唱や1つ1つの細やかな仕草を含め、作品の美しさや思いに圧倒されました。歌っていないシーンでも、体から音楽があふれている様でした。
- ◆歌を聞いて、鳥肌が止まらなかった。オーケストラの生演奏も素敵で時間があっという間に流れた。
- ◆ラストのシーンが演者さんはもちろん、照明や音楽も相まってとても印象的でした。プログラムにあったように、当時の日本への考え方など、様々な視点で見ることができて楽しかったです。
- ◆日本語でない芸術を見るのは初めてのことで、難しさもあったが、新しい経験だった。
- ◆迫力がすさまじかった。

- ◆噂で面白くないと聞いていたが、想像をはるかに超えて、とてもおもしろかったです!私は光の演出にとっても関心を持ちました。
- ◆フィギュアスケートのプログラムを見たことがあり、詳しく内容を知りたいと思っていたので良かった。またオペラを見に来たいと思った。
- ◆オペラはとても固いイメージがあったのですが、実際はミュージカルの映画を見ているような感覚で、とても楽しかったです。感動できるオペラをありがとうございました。

■『ラ・ボエーム』 あらすじ

クリスマス・イブのパリ。若くて貧しい芸術家4人が住む屋根裏部屋で詩人ロドルフォが独り仕事をしていると、隣人のお針子ミミが蠟燭の火をもらいに現れ、二人はたちまち恋に落ちる。画家マルチェッロも元恋人のムゼッタとよりを戻し、若者たちは恋を謳歌する。2月の雪の日、ロドルフォは胸を患うミミを救うために痛恨の別れを決意する。数か月後、ミミが瀕死の状態ですぐ屋根裏部屋に運び込まれ、愛するロドルフォの傍らで息を引き取る。



高校生のためのオペラ鑑賞教室
『ラ・ボエーム』2012年公演より

■プロフィール

【指揮】阪 哲朗

京都市立芸術大学作曲専修卒業後、ウィーン国立音楽大学指揮科に留学。95年ブザンソン国際指揮者コンクール優勝。ビール市立歌劇場専属指揮者、ブランデンブルグ歌劇場専属第一指揮者、ベルリン・コーミッシェ・オーパー専属指揮者、アイゼナハ歌劇場音楽総監督、山形交響楽団首席客演指揮者、レーゲンスブルグ歌劇場音楽総監督を歴任。現在、山形交響楽団常任指揮者、びわ湖ホール芸術監督。欧米での客演も数多く、ドイツ、オーストリアなどで約40に及ぶオーケストラ、歌劇場に招かれる。2008/09年の年末年始にウィーン・フォルクスオーパーで『こうもり』を指揮したことは大きな話題となった。日本国内では、主要オーケストラ、二期会などのオペラ公演を指揮している。新国立劇場では03年『ホフマン物語』、04年『カヴァレリア・ルスティカーナ』、21年高校生のためのオペラ鑑賞教室(ロームシアター京都公演)『ドン・バスワーレ』、22年高校生のためのオペラ鑑賞教室『蝶々夫人』を指揮。

BAN Tetsuro



【演出】栗國 淳

東京生まれローマ育ち。ローマ・サンタ・チェチーリア音楽院でヴァイオリンと指揮法を学ぶ。オペラの演技・演出法をM.ゴヴォーニに師事。1998年から文化庁派遣芸術家在外研修員として渡伊、H.ブロックハウス氏のもとで研鑽を積み、P.ファッジョーニ、A.ファッシーニなどの片腕としてヨーロッパを拠点に活躍。新国立劇場ではF.ゼッフィレッリ、L.ロンコーニなど巨匠達の演出助手を務めた。97年藤原歌劇団公演『愛の妙薬』で演出家デビュー。びわ湖ホール、二期会、神奈川県共同制作『トゥランドット』『アイダ』『オテロ』、東京二期会『仮面舞踏会』、あいちトリエンナーレ『ホフマン物語』、藤原歌劇団『ファルスタッフ』『ノルマ』『椿姫』、日生劇場オペラ『アイナダマール』(日本初演)『セビリアの理髪師』、紀尾井ホールバロックオペラ『オリンピアデ』など多数の作品を手掛ける。海外ではサッサリ・ヴェルディ劇場『アンドレア・シェニエ』『エルナーニ』、スロベニア国立マリポール歌劇場『ホフマン物語』を演出している。2011年度エクソンモービル音楽賞奨励賞受賞。新国立劇場では『ラ・ボエーム』『セビリアの理髪師』『おさん』『フィレンツェの悲劇/ジャンニ・スキッキ』『チェネントラ』、小劇場オペラ『外套』を演出。23/24シーズン『修道女アンジェリカ/子どもと魔法』を演出予定。現在、日生劇場芸術参与、新国立劇場オペラ研修所プログラムアドバイザー兼アルテ・シェニカ講師。エクソンモービル音楽賞奨励賞受賞。

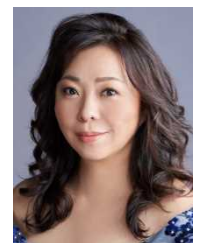
AGUNI Jun



【ミミ】木下美穂子

KINOSHITA Mihoko <7月10日・12日・14日>

武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。二期会オペラスタジオ修了。第70回日本音楽コンクール第1位、第16回新日鉄音楽賞、2007年リサーチ・アルバナーゼ プッチーニ国際声楽コンクール第1位、第16回出光音楽賞等多数受賞。小澤征爾指揮『ドン・ジョヴァンニ』『ドンナ・エルヴィーラ』以降、東京二期会『椿姫』『ヴィオレッタ』『ローエングリン』エルザ、佐渡裕プロデュースオペラ『カルメン』ミカエラ、ロームシアター京都および東京二期会『フィデリオ』レオノーレ、札幌・神奈川・大分『アイダ』タイトルロール等多数のオペラに主演。殊に『蝶々夫人』タイトルロールでは、ロンドン・ロイヤルアルバートホール、ピサ・ヴェルディ劇場、ソフィア国立歌劇場、シガン・デトロイト歌劇場、バンクーバー・オペラ等に出演、確固たる国際的評価を築いている。新国立劇場では高校生のためのオペラ鑑賞教室『椿姫』『ヴィオレッタ』、同『ラ・ボエーム』ミミ、同『トスカ』タイトルロール、同『蝶々夫人』タイトルロールなどに出演、本年3月『ホフマン物語』ではアントニアに出演した。CD「イル・クオーレ」リリース。二期会会員。



【ミミ】石橋栄実

ISHIBASHI Emi <7月11日・13日・15日>

大阪音楽大学専攻科修了。咲くやこの花賞、大阪舞台芸術奨励賞、音楽クリエイティブクラブ奨励賞、坂井時忠音楽賞を受賞。98年ドイツ・ケムニッツ市立劇場『ヘンゼルとグレーテル』グレーテルで招聘出演。以来『イダメネオ』イーリア、『フィガロの結婚』スザンナ、『魔笛』パミーナ、『愛の妙薬』アディーナ、『ランスへの旅』コルターゼ夫人、『ファルスタッフ』ナンネッタ、『こうもり』アデーレ、『欲望という名の電車』ステラ、モノオペラ『声』ほか出演多数。新国立劇場では05年地域招聘公演『沈黙』及び12・15年『沈黙』オハル、13・14年高校生のためのオペラ鑑賞教室・関西公演『夕鶴』つう、16年『ラ・ボエーム』ムゼッタ、18年『フィデリオ』マルツェリーネ、21年『カルメン』(高校生のためのオペラ鑑賞教室公演、びわ湖ホール公演)ミカエラ、22年『ドン・ジョヴァンニ』ツェルリーナに出演。オハル役で出演した大阪音楽大学ザ・カレッジ・オペラハウス『沈黙』公演は文化庁芸術祭大賞、大阪文化祭賞グランプリほかを受賞。大阪音楽大学教授。



【ロドルフォ】 工藤和真

KUDO Kazuma(7月10日・12日・14日)

岩手県出身。東京藝術大学卒業。同大学院修了。声楽を小原一穂、佐々木朋也、市原多朗の各氏に師事。市川市文化振興財団主催第28回新人演奏家コンクール優秀賞。第33回練馬区新人演奏会オーディションにて最優秀賞を獲得。第1回かわさき新人声楽コンクール第1位。第84回日本音楽コンクール声楽部門第2位。第53回日伊声楽コンクール第1位及び歌曲賞(岡部多喜子・嶺貞子賞)を受賞。第17回東京音楽コンクール声楽部門第2位(最高位)及び聴衆賞を受賞。東急ジルバスターコンサート2019-2020ではベートーヴェン《交響曲第九番》テノールソリストとして出演。オペラでは『カヴァレリア・ルスティカーナ』トゥリッドゥでデビューを果たし、『椿姫』アルフレード、『トスカ』カヴァラドッシ、『カプレーティとモンテッキ』テバルド、『ナブッコ』イズマエーレなどで出演。新国立劇場へは22年『ボリス・ゴドゥノフ』グリゴリー・オトレピエフでデビューした。

**【ロドルフォ】 宮里直樹**

MIYASATO Naoki (7月11日・13日・15日)

東京藝術大学首席卒業。同大学院修了。第48回日伊声楽コンクール第1位第10回東京音楽コンクール声楽部門第2位(1位なし)、同時に聴衆賞等受賞多数。2014年度明治安田クオリティオブライフ文化財団の海外音楽研修生として渡欧、ウィーン国立音楽大学にて2年間学ぶ。15年度ローム ミュージック ファンデーション奨学生。秋山和慶、小泉和裕、小林研一郎、尾高忠明など著名指揮者のもとNHK交響楽団、読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団をはじめ国内主要オーケストラと共演。2017年10月に二期会公演『蝶々夫人』ピンカートン役で二期会デビューし大好評を博す。20年には東京芸術劇場/全国共同制作プロジェクト『ラトラヴィアータ(椿姫)』にアルフレードで出演。コンサートのソリストとしても活躍している。新国立劇場へは21年『ばらの騎士』テノール歌手でデビュー。二期会会員。

**【マルチェッロ】 青山 貴**

AOYAMATakashi (7月10日・12日・14日)

東京藝術大学卒業、同大学大学院修了。二期会オペラスタジオ第44期マスタークラス修了。新国立劇場オペラ研修所第4期修了。文化庁、ローム ミュージック ファンデーションの奨学金を得てボローニャ、ミラノで研鑽を積む。第19回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。第4回マグダ・オリヴェーロ国際コンクールファイナリスト。これまでに二期会『仮面舞踏会』レナート、『ナブッコ』タイトルロール、日生劇場『ドン・ジョヴァンニ』レポレツォ、『セビリアの理髪師』フィガロ、『魔笛』パパゲーノ、びわ湖ホール『さまよえるオランダ人』オランダ人、『ラインの黄金』ヴォータン、『ワルキューレ』ヴォータン、『ジークフリート』さすらい人などに出演。新国立劇場では高校生のためのオペラ鑑賞教室『トスカ』スカルピア、同『ラ・ボエーム』マルチェッロ、同『蝶々夫人』シャープレス、『ニュルンベルクのマイスタージンガー』フリッツ・コートナー、『タンホイザー』ピーテルルフなどに数多く出演している。二期会会員。

**【マルチェッロ】 成田博之**

NARITA Hiroyuki (7月11日・13日・15日)

国立音楽大学声楽科卒業、同大学院オペラコース修了。文化庁オペラ研修所第10期修了。03年ミロブーロス国際声楽コンクール(アテネ)最高位など受賞多数。二期会では『ドン・カルロ』ロドリゴ、『リゴレット』タイトルロール、『イル・トロヴァトーレ』ルナー伯爵などに出演。新国立劇場では『アンドレア・シェニエ』ルーシェ、『愛の妙薬』ベルコーレ、『沈黙』ヴァリニャーノ、『カヴァレリア・ルスティカーナ』アルフィオ、『エウゲニ・オネーギン』ザレツキー、『椿姫』ドウフォール男爵、『Super Angels スーパーエンジェル』ジョージ、高校生のためのオペラ鑑賞教室『カルメン』エスカミーリョ/ダンカイロなどに出演。23/24シーズンは『椿姫』ドウフォール男爵に出演予定。二期会会員。

**【ムゼッタ】 九嶋香奈枝**

KUSHIMA Kanae (7月10日・12日・14日)

東京藝術大学卒業。新国立劇場オペラ研修所第4期修了。文化庁派遣在外研修員としてミラノに留学。2005年にはギリシャにてアテネ国立劇場開場記念公演『魔笛』(ミヒヤエル・ハンペ演出)に招聘され出演。第54回全日本学生音楽コンクール第1位、HIMESコンクール第1位。東京二期会『魔笛』パパゲーナ、びわ湖ホール『死の都』ユリエッテ、PMFステージオペラ『ナクソスのアリアドネ』ナヤードなどに出演。新国立劇場では『愛の妙薬』ジャンネッタ、『フィガロの結婚』スザンナ、バルバリーナ、『ドン・ジョヴァンニ』ツェルリーナ、『パルジファル』小姓1、『ジークフリート』森の小鳥、『魔笛』パパゲーナ、『愛の妙薬』ジャンネッタ、『ペレアスとメリザンド』イニョルド、『ボリス・ゴドゥノフ』クセニア、高校生のためのオペラ鑑賞教室『ドン・パスクワレ』リリーナなどに出演している。本年高校生のためのオペラ鑑賞教室(ロームシアター京都公演)『魔笛』パパゲーナ、23/24シーズンは『コジ・ファン・トゥッテ』デスピーナに出演予定。二期会会員。

**【ムゼッタ】 臼木あい**

USUKI Ai(7月11日・13日・15日)

東京藝術大学卒業。同大学大学院修士課程・博士後期課程修了。博士号(音楽)取得。二期会オペラ研修所第47期マスタークラス修了。安宅賞・松田トシ賞・三菱地所音楽賞受賞。第72回日本音楽コンクール第1位。06年ザルツブルクのモーツァルトウム音楽院に留学。国内では東京二期会『ジャンニ・スキッキ』ラウレッタ、日生劇場(及び韓国公演)『夕鶴』つう、『ヘンゼルとグレーテル』(ブレイメン劇場版)グレーテル、びわ湖ホール・神奈川県民ホール『ラ・ボエーム』ムゼッタ、日生劇場開場50周年記念『リア』コーディリア、狂言演出による『リヴィエッタとトラコッコ』リヴィエッタ、北とびあ国際音楽祭『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・アンナ等を演じる。新国立劇場にはバレエ公演『カルミナ・ブラーナ』ソプラノソロ、オペラ鑑賞教室『カルメン』フラスキータ、同鑑賞教室・関西公演『愛の妙薬』アディーナに出演、『紫苑物語』千草、『フィガロの結婚』スザンナに出演。「NHKニューイヤーオペラコンサート」などコンサートでもソリストとして活躍している。二期会会員。



■公演概要

タイトル	新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室 2023 「ラ・ボエーム」 全4幕<イタリア語上演/日本語及び英語字幕付> 令和5年度日本博 2.0 事業(委託型)																														
スタッフ	指揮：阪 哲朗 演出：栗國 淳 美術：パスクアーレ・グロッシ 衣裳：アレックスandro・チャンマルーギ 照明：笠原俊幸																														
キャスト	<table border="0"> <tr> <td></td> <td>(7月10・12・14日)</td> <td>(11・13・15日)</td> </tr> <tr> <td><ミミ></td> <td>木下美穂子</td> <td>石橋栄実</td> </tr> <tr> <td><ロドルフォ></td> <td>工藤和真</td> <td>宮里直樹</td> </tr> <tr> <td><マルチェッロ></td> <td>青山 貴</td> <td>成田博之</td> </tr> <tr> <td><ムゼッタ></td> <td>九嶋香奈枝</td> <td>臼木あい</td> </tr> <tr> <td><ショナール></td> <td>高橋正尚</td> <td>吉川健一</td> </tr> <tr> <td><コッリーネ></td> <td>伊藤貴之</td> <td>久保田真澄</td> </tr> <tr> <td><ベノア></td> <td>畠山 茂</td> <td>畠山 茂</td> </tr> <tr> <td><アルチンドロ></td> <td>晴 雅彦</td> <td>大久保光哉</td> </tr> <tr> <td><パルピニョール></td> <td>寺田宗永</td> <td>高畠伸吾</td> </tr> </table>		(7月10・12・14日)	(11・13・15日)	<ミミ>	木下美穂子	石橋栄実	<ロドルフォ>	工藤和真	宮里直樹	<マルチェッロ>	青山 貴	成田博之	<ムゼッタ>	九嶋香奈枝	臼木あい	<ショナール>	高橋正尚	吉川健一	<コッリーネ>	伊藤貴之	久保田真澄	<ベノア>	畠山 茂	畠山 茂	<アルチンドロ>	晴 雅彦	大久保光哉	<パルピニョール>	寺田宗永	高畠伸吾
	(7月10・12・14日)	(11・13・15日)																													
<ミミ>	木下美穂子	石橋栄実																													
<ロドルフォ>	工藤和真	宮里直樹																													
<マルチェッロ>	青山 貴	成田博之																													
<ムゼッタ>	九嶋香奈枝	臼木あい																													
<ショナール>	高橋正尚	吉川健一																													
<コッリーネ>	伊藤貴之	久保田真澄																													
<ベノア>	畠山 茂	畠山 茂																													
<アルチンドロ>	晴 雅彦	大久保光哉																													
<パルピニョール>	寺田宗永	高畠伸吾																													
合唱	新国立劇場合唱団																														
児童合唱	多摩ファミリーシンガーズ(10日・12日・14日) TOKYO FM 少年合唱団(11日・13日・15日)																														
管弦楽	東京フィルハーモニー交響楽団																														
主催	公益財団法人新国立劇場運営財団、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁																														
制作	新国立劇場																														
委託	令和5年度日本博 2.0 事業(委託型)																														
助成	公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション																														
協賛	ローム株式会社 損害保険ジャパン株式会社																														
日程	2023年7月10日(月)13:00、11日(火)13:00、12日(水)13:00、 13日(木)13:00、14日(金)13:00、15日(土)13:00																														
会場	新国立劇場オペラパレス (東京都渋谷区本町 1-1-1)																														
料金(税込)	高校生以下 2,200 円 一般(大人) 4,400 円																														
チケット発売	高校生以下発売日：2023年5月28日(日)10:00～ 一般発売日(大人)：2023年6月24日(土)10:00～																														
お問い合わせ	新国立劇場ボックスオフィス TEL：03-5352-9999 https://www.nntt.jac.go.jp/opera/educational-laboehme2023/																														